

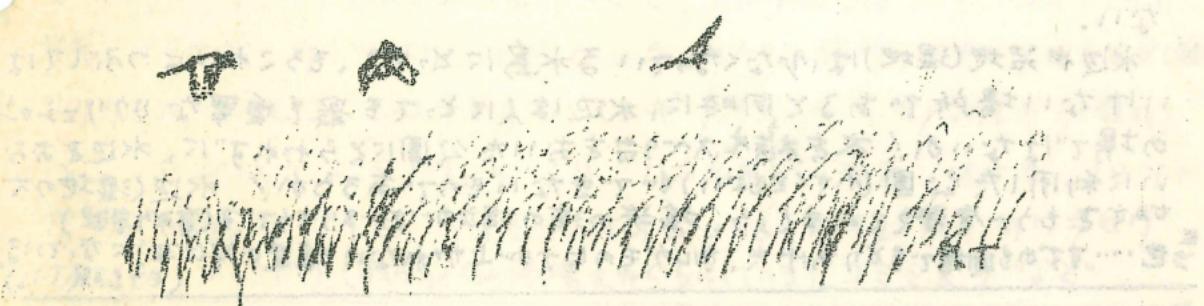
# すずがわ通信 No.10

1981.12.1



行徳野鳥観察会友の会会報

ミュイ



(吉澤泰吉) ひでたけ



イラスト 田久保

野鳥観察会友の会のお話の会ありがとうございました。  
カモが、ぐっと身近になりました。  
カモと縁めは別もつかなかたわけですから、今回のお  
話で、だいぶ遅歩しました。

観察会はこれまで2回目ですが、今後ともよろしくお世  
いします。

宣材後一節 ( )

11月8日“カモの話とスライド”に参加して

## はおと “水辺の大セカ”

(田久保晴孝)

保護区がある近郊の緑地保全域内で、とても不幸な事件があきました。(資料参考)近くにすむ3男と4女の中弟が、隣水辺の池で復元状態でみつけられた時、手首のかいもなく死んでいました。さうの穴から内へ入り、あやまちで墜ちてしまったのだとうといわれています。(31.9.29)

さすが、市や県によってさうの魚木食かなされ、さうをしていないかたキンギョ池などにはさうかされました。

もちろん、危険を戒めでの危険防止は大セカなことです。そのための管理が必要であつろうか、根本的な点で遊び場としての水辺が不足しているではないかうか!

10年ほど前までは、この地域もハス田や沼があり、魚とりや漁りなどをして子供達がさかんに遊んでいたところです。

今やハス田や沼地がほとんど埋め尽くされ、水路もコクリートでかたまれてしまっています。保全地域や少子高齢化に苦しむ、沼や湿地が残されていません。

水辺や沼地(湿地)は少なくないいる水鳥にとって、もうこれ以上つぶしていけない場所であると同時に、水辺は人にとっても最も重要なリクリエーションの場ではないか! 本を本音で述べるときは「公園にどうわざす」が、水辺をかかいで利用した公園(いさくともよい)ができるいいものであつろうか! 水辺(湿地)の大セカをもう一度考えてみましょう。塗装の湖の埋立ばかりでなく(資料参考)、さくらすすがも通信でとりあげた、カルガモのヒナが上しかれない構造の岸(堤)になつては。

## さえぎり(行事報告)

夜の会(ヨタカをみる会)に参加して 宮崎恒司  
(南新潟小5年)

ぼくは、「夜の会」のことを見報で知りて、母に「やめていいですか」とさきました。母は「夜連といつにならいいよ」と言ったので、夜連の川上君と行くことにしました。

夜の会に行く時がきな、ぼくは、アオバズウとヨタカが団あつた。アオバズウはあきらめていたが「ヨタカだけは」と思っていた。

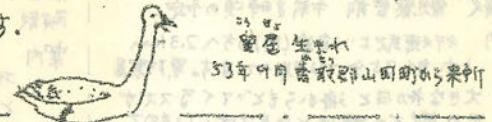
出発! ぼくは2番目で、回さあちらこちらに向っていた。始めに聞いた声は、ゴイサギの声である。そこは、ゴイサギのヒナが育った所で、そのヒナ達は、今や大きくなり、うるさい声で「グアグア」と鳴きとおりしていた。それから、ぼくたちは、まっすぐに進み、マツムシなどのいいなき声を聞いた。

島石のカスミあみの方へ行ってみると、中道君が「あ、いた」と言つた。ぼくが見ると大きな鳥だった。その鳥はヨタカだつたのだ! 嘘りにみてみたが、もうヨタカのすかたはありませんでした。

## — ジュニアコーナー —&lt;かべしんがん オイフリ21号より 編集 藤井公裕より&gt;

## コブハクチョウの死

10月15日のゆうがた、水路にある水門から西の方へ少しはなれた所でコブハクチョウのメスの死体がみつかりました。死因は満氣だそうです。



33年9月番組山田町から来所



## — 観察會でみられる鳥 大くさしの力をかみられますよ!

ズズガモ(30~50羽)ホシハシロ、キンクロハシロ、オナガガモ(数千羽)コガモ(幼), ヒビリガモ, ハシビロガモ, マガモ, カルガモ, タケモ, コサギ, アオサギ, ゴイサギ, カツラギ, チュウヒ, チケンボウ, オオセグロカモ(数羽)ユリカモ, ダイセレ, シロチドリ, ハマシギ, イソシギ, セイタカシギ(+数羽)バン, キシバト, ヒヨドリ, ヒバリ, ハクセキレイ, モズ, オナガ, ハシブトガラス, ウグイス, ソケミ, マオシ, オオシムカツ, ホオジロ, カリチヒクスズメ, ハクドリ(数羽)御城増えぐらに(1羽), コミミズクなど

## — 変わりゆく行徳 —⑥

## “自然破壊はやめて下さい” (田久保文子)

「もうこれ以上の自然破壊はやめて下さい」と江戸川放水路の土手から行徳に向って叫びたい。そんな思いでいいのはいいのここ2~3年です。しかし、だとえ叫んでみても、目の前で埋立てられていく、ハス田や沼への土砂の運搬をくいどめること難いできない。



運まほり、一本へていねいに流し、クワきつかれて畠仕事をする……そんな農夫の姿をみることができます。日は、そう長くはないでしょうか? ここ(妙田地区)も市街化調整区域からはずされてしまえば、ここもマンションだらけの宅地になってしまつでしょう。

この妙田地区にいか残されていない、一にぎりのがいでの行徳の自然を包わってくれた土砂を何とか、なんとかそのまま残す方法はないものか? だれかが書いていました。「水元公園のようにして、せせらぎ」と。市川市の太町の谷津田から太町自然公園として残された(保全された)。その地区が、農業を生かした水辺を中心とした公園になることを心から願つていいのです。

# 行 車 案 内

だれでも自由に参加できます

★ 初日とスズガモの帰還観察会  
'82年 1月1日(午前5時50分~8時)

集合 鎌浜海岸 午前5時50分 雨天中止  
解散 観察会前 午前8時頃の予定

案内 行徳駅より海岸(南)の方へ2.3km  
ト木約35分で海岸へます。雲、晴れ具  
大きな飛来鳥と海からもどってくるスズガ  
その数多くの群はとてもすばらしいもので  
す。'81年はよく飛来ましたか今何時?

スズガモの飛来待ちき見守会

12月13日(日), 27日(日) 1月10日(日), 24日(日)

集合 観察会 午後4時30分

案内 保護区で量門、弓の休息めている  
数多くのスズガモでは、田の入後、東京湾へ  
群で、工事を通りに出かけます。水面をけ  
って飛び立つ時はすばらしいです。

雲、晴れ具

観察会より

年末、年始の休館のおしらせ

>'81 12月28日(月)~'82 1月4日(月)まで年末・年始の休館をいたします。  
ただし、観察会前の道から鳥を見学するだけは自由です。なお 12/25(金)はもう  
じの鳥の休館日です。定休日 毎月1日曜日。月曜日が休日のときは開館日(休館日)  
月末の翌曜日はもうじの鳥の休館日。

施設局より

★ 来年度の会員をお求め下さい。年会費 管理 1000円 貸助 2000円以上, 3000円  
(なよび観察会についても会員をあすこいてもらいます)

★ 観察会において、野鳥に關する本、雑誌はかぎり、来年(1982)度のカレンダー(会員700円  
750円), 遊尾さんかづくら カワイイシングルなどを販売しています。

★ 会員の本川平吉郎さんから癌氣の発病中のところ、十周十四日承認致しました。  
贈してござる報告申し上げますと共にまことに御冥福をお祈り致します。  
本川さんは10年ほど前から癌に罹り、新潟の高木先生もお見えくださいました。元気な方へ

編集こうき 来年度もよろしくお預け下さい

来年度も引き継ぎ、編集の体験をしていきますので、よろしくご指導下さい。  
まちかたでいる所、改善したらいい点等もどうぞよせ下さい。カットや記事もよろしく

すずがも通信 発行人 鶴谷 葉

NO. 10 国事務局 鈴木 葉

1981年12月1日発行 編集人 国久保清寿文子

報壁 仙台一6129

年会費 1000円

編集会 市川市鶴見4の22の1 TEL 0473(77)9046